場合の数の基本を確認する問題です。

「順列」や「組み合わせ」、「場合分け」等を駆使して正解してください。

ポイントは、「C」に入る数字は一番大きいので、5か所に入る数字の組み合わせがきまったところで 「C」が確定することです。

場合の数

(1)

今後すべてそうなのですが「0」を含むか含まないかで場合分けします。

(i) 0を含まない

5数の選び方は9個の中から5個を選ぶ組み合わせなので、9個の中から4個を選ぶ組み合わせ と同じです。

$$\frac{9\times8\times7\times6}{4\times3\times2\times1} = 126 \text{ (通り)} \cdot \cdot \cdot \text{①}$$

C以外の並べ方は順列なので

よって

(ii) 0を含む

0は決まっているので残り4個を9個の中から選びます。

これは①と同じです。

C以外の並べ方は0は先頭に来ることができないので

よって

(i) と(ii) を合計して

- (2) C以外にいくつが同じかで場合分けします。
 - ①4つが同じ
 - 0は選べないので9個の中からから2個を選ぶ組み合わせとなります。

$$\frac{9\times8}{2\times1} = 3.6$$
 (個)

- ②3つが同じ
 - (i) 0を含まない

3数の選び方は9個の中から3つを選ぶ組み合わせです。

$$\frac{9\times8\times7}{3\times2\times1} = 84$$
 (通り)・・・②

同じものの位置の決め方が4通り、C以外の並べ方が2通りなので

(ii) 0を含む

3数の選び方は0がきまっているので9個の中から2個を選ぶ組み合わせとなります。

$$\frac{9\times8}{2\times1}$$
 = 36 (通り)・・・③

位置の決め方が4通り、0は先頭に来ないので

(i)と(ii)を合計して

$$672+144=816$$
 (個)

- ③2つと2つが同じ
 - (i) 0を含まない

3数の選び方は②と同じ、2つと2つに分けるのは3通り、2数の並べ方は2通りなので 84×3×2=504(個)

(ii) 0を含む

3数の選び方は③と同じ。分け方は3通り、0は先頭に来ないので

- ④2つが同じ
- (i) 0を含まない

4数の選び方は①と同じです。同じものの位置は4個の中から2個を選ぶ組み合わせなので

$$\frac{4\times3}{2\times1} = 6$$
 (通り)

3数の並べ方は順列で

$$3 \times 2 \times 1 = 6$$
 (通り)

よって

126×6×6=4536 (個)

(ii) 0を含む

4数の選び方は②と同じ、同じものの位置は6通り、C以外の並べ方は

よって

これらの結果と(1)の全てを合計して

〈別解〉Cで分類します。Cが決まればAにはOが入らないこと以外には制限はありません。

$$C = 9 \rightarrow 8 \times 9 \times 9 \times 9 = 5832$$
 (個)

$$C=8$$
 → $7\times8\times8\times8=3584$ (個)

$$C=7 \rightarrow 6 \times 7 \times 7 \times 7 = 2058$$
 (個)

$$C=6$$
 $\rightarrow 5\times6\times6\times6=1080$ (個)

$$C=5 \rightarrow 4 \times 5 \times 5 \times 5 = 500$$
 (個)

$$C=4$$
 $\rightarrow 3\times 4\times 4\times 4=192$ (個)

$$C=3 \rightarrow 2\times 3\times 3\times 3=54$$
 (個)

C=2 $\rightarrow 1 \times 2 \times 2 \times 2 = 8$ (個)

合計して13308個…(答)